



TPKFイーストチャレンジキャンプ2026 (2026年3月27~28日 川崎青少年の家)

献身の証し



「イエスは彼らに言われた。『わたしについて来なさい。あなたを、人間をとる漁師にしてあげよう。』彼らはすぐに網を捨てて従った。」

(マタイの福音書 4章19~20節)

17年前、このみことばが私にハッキリと語られ、主が献身へと導いてくださったことを覚えています。当時、救われて間もなく、日曜日の礼拝も仕事や用事を優先し参加しないこともあるほど信仰の薄い私でした。今思えばあの時、イエスさまと出会い、確かに救われているのに、イエスさまの計り知れない愛には気付いていませんでした。

私は約2年間、単身赴任でサイパン島に住んでいました。妻は韓国の宣教師(牧師)であり、当時、三重県で教会を開拓していました。そのため月に一度は日本に帰っていました。日本に帰ったある夜、夢の中で「あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう。」と主が語られ、目を覚ました。「いや、これは夢や、気のせいだ。」とまた眠りにつきました。するとその日以降、何度も何

須磨自由キリスト教会
北広島自由キリスト教会

平川 久

度も同じみことばが頭の中に浮かんできました。私は「イエスさま、何で人をとる漁師にならなアカんの? 妻が人をとる漁師として韓国から来るやん?」と心から訴えました。

それから2年、イエスさまは変わることもなく同じみことばを語られました。サイパンでの仕事を終え日本に戻った翌年の元旦礼拝のなかで牧師(妻)から信徒さんに、みことばのカードがランダムに配られました。私もみことばカードの中から手探りで一枚のカードを取りました。それは『わたしについて来なさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう。』彼らはすぐに網を捨てて従った。マタイ4・19~20』でした。

その時、初めてイエスさまの前に跪きました。イエスさまが私に何度も言われていたことは「わたしについて来なさい」だと気づきました。イエスさまについて行くだけなんだ、と思ったら案になり献身の召しが確信になりました。その年の春、KB Iへと導かれました。あれから17年、今もイエスさまについています。感謝。

パキスタン宣教便り

太田ともえ



祈りの時

「不倫をした」と、偽りの糾弾をされた宣教師がいます。

事実は、こうでした。その宣教師と奥さんは、夫から暴力を受けていたパキスタン人クリスチャ

ン女性救出のお手伝いをしました。結局その女性は実家の父親の助けを受けて、夫の不在時に、実家に帰りました。その時に、結婚とともに実家から持ってきた家財道具も引き上げたのです。

もちろん、その女性の夫は帰宅した後、烈火のごとく怒りました。そして、宣教師がともに働いている、現地教会リーダーに訴えました。「あの宣教師が、私の妻の逃走と家財道具の持ち去りに加担した」と現地語で手紙を書いたのです。

ところがここで、こっそりほくそ笑んだのが、現地教会リーダーの一人。かねてから、齒に衣着せず物申すその宣教師をよく思っていなかったので、この女性の夫の

手紙を利用して、宣教師を貶める策略をたてました。夫の手紙を英語に訳し、一部文面を変えて「不倫した」と書き換え、なんと宣教師の母国リーダーに送り付けたのです。

調べた結果は明らかで、ほどなくその宣教師の潔白は証明されました。それでも、この騒動がいくつかの人間関係を悪化させ、DV被害女性を助けただけの宣教師は傷つき、ちまたには今なお噂話に踊らされている人もいます。

ここで、私たちを嘲り喜ぶ者がいます。「身を慎み、目を覚ましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、吼えたける獅子のように、だれかを食い尽くそうと探し回っています。」(1ペテロ5:8) そんな中で、私たちは良き証し人としてきよい生活を送り、霊的に目を覚ましている必要があります。そして、いつも思うのです。「しかし、これらすべてにおいても、私たちを愛してくださいました方によって、私たちは、圧倒的な勝利者です。」(ロマ8:37)

その宣教師夫妻と私たちは、ともに食卓を囲み、主にある温かい交わりの中で、一緒に祈りました。困難の中で、主と兄弟姉妹の愛の温かさを味わうひとときでした。

□各グループ議長からのひとこと

世代交代における5つの提案

T P K F イースト議長 宮崎一実



今回は、T P K F イーストの課題でもある世代交代について5つの提案をさせていただきます。

①相手を自分よりも優れた存在と認め、尊敬する。

これは、相手の性別、国籍、年齢、思考などにかかわらず、全てにおいて相手が自分よりも優れていると尊敬し接することで、相互の関係がスムーズになり物事が円滑に進むきっかけとなります。

②全てをジェネレーションギャップで片付けない。

私たちはともすれば全てをジェネレーションギャップの一言で判断し、分かり合えないと決めつけてしまいがちですがそれは多くのチャンスを逃すことに繋がります。神様は、教会に様々な方々を与えられ、互いに助け合い、支え合うことができるようにしてくださいました。ですから、若い方々は、自分がまだ経験したことのないことを既に経験されている年配の方々から、話を伺い学ぶことで、自分に足りない部分を補うチャンスが与えられますし、年配の方々にはなかなか理解することが難しい時代の事柄を若い方々から教えていただきながら、今

の世界に順応し楽しむチャンスが与えられます。

③分かり合えないのは当たり前という真実

まず、クリスチャンだから必ず分かり合えるという考え方を捨てましょう。そもそも私たちは、神様がひとりひとり个性的に唯一無二の存在で誰とも一緒ではありません。ですから、分かり合えないのは当たり前。違いを認め、神様の愛によって歩み寄り、御心を探し一致することを楽しんで参りましょう。

④世代交代は箱根駅伝と考える。

駅伝は、自分の区間を走り終えたら、次のランナーに襷を渡します。そして、次の区間を走るランナーは、そのランナーの方法で走ります。例えその方法が危なっかしく見えたとしても、他のランナーは勝手に手出しをする事はできません。できることは、無事に完走できることを祈るだけです。ただ委ねるしかないのです。逆に、その区間を走るランナーに迷いや、不安が生じた時には、先に走ったランナーに助言をいただくことができるでしょう。それは大きな祝福になります。

⑤素直であることと共感力

人間関係において、素直であることで人の助言を聞き、受け止め、成長することができ、共感力(想像力)を持つことで相手の立場に立って考え理解することができます。是非、この2つの力を主に求めて参りましょう。

子育て奮闘記

守山キリスト福音教会 上田勇矢

「信仰継承が成功したかどうかは、子ではなく、孫が信仰に生きるかどうかでわかる」それはクリスチャン親にとっての最大のテストのようです。我が家は子育て「奮闘記」というより「奮闘期」真っ盛り。長男 16 歳、次男 13 歳、長女 10 歳、次女 8 歳。2007 年 10 月、結婚してからの 19 年間で 5 人の子どもを産んでくれた妻には大いに感謝、尊敬しています。

私の一目惚れから始まり、私 30 歳、妻 26 歳で結婚してからの歩みはスイートな…というよりも、よくぶつかり、最初の 6 年間はしばしば妻に家出をさせてしまいました。当時は Line ではなくメールでしたが、「ごめん」と送ると、「何が!!?」(#° Ⅱ°) という切れたやり取りを多々しました。でも、夫婦の関係回復のための努力を後回しにせずに向き合い続けることができたことは、今に至る健康な家族関係（と思っている）の土台になりました。信仰継承の始まりは愛し合い、赦し合う夫婦関係だと思います。

さて、私の牧師給与だけでは経済的に無理ということで、初めの 10 年間は家庭教師を兼任していました。そして、子育ては妻任せでした。日曜の礼拝時間、他の幼児さんたちは、父母と共に礼拝していても、私は講壇に立つので、妻はいつもワンオペで子ども 4 人の対応、「つらかったよ」とよく言っていました。でも、どうしようもなく…。礼拝メッセージが聞けないのが普通の状態でも妻はよく忍耐してくれました。私は「もっと子育てに協力してよ!」と言われ続け、「手伝ってる!」と反論したら、「子育ては手伝うんじゃなくて、一緒にするんでしょ!」と一喝され、心を入れ替えなければいけませんでした。

家庭教師業を終え、娘二人が幼児の頃、今度は妻が外に出始め、生協理事の任を負うなど、教会外での交友関係が活発になり、私は自宅／教会に留まる時間が増えました。すると幼い子どもの育児は「手伝い」ではなく「夫の役割」になり、私が子どもと過ごす時間がずいぶん増えました。さらに、2023 年 10 月、妻が守山市議会議員に当選して以降、妻は外にいることが多くなり、私は牧師の働きと共に家事を担当する割合が増え、今、朝食準備とお弁当作りは私の役割で、掃除、洗濯も。娘からの誕生日カードには「いつもいろいろ家事をしてくれてありがとう。これからもよろしくね♡」の言葉が。

妻は安産型なのですが、つわりの時は毎回 2 か月ほど倒れこみました。その間、私は幼い子どもの食事、風呂、おむつ交換、送り迎えに奮闘し、娘二人と末っ子のつわりの時は、子どもを寝かせた 23 時ごろ、キッチンで丸椅子に座って、疲れ切って「主よ助けてください」と涙したことが何度もあ

りました。でも、妻がしてきた育児苦勞を理解する上で重要な経験となりました。

そんな私たちの子育ての大きな転機は、末っ子（三男）道真が生後 5 か月で亡くなったことでした。その日、夕方まで背負い、寝室に寝かしつけていたのに、夜に息をしていない息子を発見したのは私でした。翌朝、子どもたち 4 人には正直に話し、一緒に泣き、葬儀を含めて、包み隠さず、悲しみを家族で通りました。道真の死は「家族が家族として過ごす時間が当たり前ではない。子どもが成長することは当たり前ではない。子どもと過ごす『今』という時間は『今』しかない」という想いに私たちを変えました。「死」が身近になり、同時に、御言葉（ローマ 14:9、12:15 ほか）が私たちの慰めであることを実感しました。今から 5 年前、家族みんなにとって神の御国が身近になりました。

今、長男は高校吹奏楽部、次男は中学バレーボール部活動に力を入れています。日曜にも部活があることがあり、礼拝に出られないことをどうするか考えましたが、礼拝の大切さを前提にしつつ、自分で選ばせることにしました。長男は賛美奏楽で仕え、次男は 4 月 5 日にバプテスマを受けました。娘たちも続くでしょう。ひとまず現時点では信仰継承継続中です。

私は、就学前の子どもを一人ずつ枝教会への旅や牧師会に連れていきました。「教会のみんなに愛され、育てられてきた」ことは信仰を共に育てる大切な要素です。我が家には私たちの結婚写真をはじめ、子どもたちの生後や幼い頃の写真を飾っています。また、彼らの名前はすべて聖書からとっているので、その意味を誕生日カードなどに載せます。そのようにして、彼らの存在を喜んでいることを表現しています。そんな私たちの、信仰継承キーワードは「親が裏表のない信仰に生きること」です。次々回、妻の視点での記事もお楽しみにしてください。



2021年 道真の召天後



2023年秋 京都動物園



2017年南さつま10周年へ次男と長女と



2024年平川10周年へ長女と

あかし 出合いに導かれて

亀岡ベタニヤ教会 大西弘美



今を遡ること45年前、私は、道であり真理であり命であるイエス・キリストを我が救い主と信じ、信仰の道を歩み始めました。今日まで、神様の限りない愛と恵みの中に生かされ、守られ、導かれましたことを感謝いたします。

私と主人は結婚を機に、以前住んでいた東京から、主人の実家のある亀岡に越して来ました。その新しい住まいとなったマンションの同じ階に、後に、私の人生の方向転換（罪からの解放）を促して下さるべく、フィンランド人宣教師のアンティ・ロポご夫妻が入居しておられました。お顔を合わせるごとに親しくさせていただき、やがて私は、ご夫妻宅での家庭集会を通して、教会に連なる者とされました。初めは福音を拒否していた夫も、何と、私の救いから半年後に、十字架の許に導かれたのです。

当時私たちが集っていた会堂は借家で、狭く、すきま風の入る古い建物でした。けれども、その内側は温かな平安で満ちていました。すし詰め状態のクリスマスの祝会などは、忘れることのできない、旧会堂での懐かしい思い出の一片です。そこから15年の月日が流れ、1997年、神様は豊かな祝福をもって、3階建ての新会堂を与えてくださいました。

亀岡の教会は、長きにわたってお世話くださったハマライネン宣教師ご夫妻をはじめ、幾人もの宣教師の方々によって支えられてきました。言葉は無論、生活習慣の大きな違いに、ご苦勞も多かったことと思います。しかし、神に忠実に、そして人には誠実に仕えておられるお働きの中に、主の僕としてのあるべき姿を見させていただきました。

現在教会は、数名の信徒のみの集まりとなっていますが、K F Kの諸先生方の協力のもと、主の憐れみによって、この地に守られています。私はこれからも、神の家族に約束された御国の住まいを目指して、信仰の道を歩み続けます。



救いと信仰生活の証し

勝山自由キリスト教会 伊藤文孝

私は、平泉寺という大きな神社が近所にあり、当たり前のように仏教を信仰している家庭で育ちました。そして、牛飼いになるという夢のために、北海道にある酪農学園に入学しました。そこはキリスト教の学園で、礼拝というカリキュラムがある生活をするようになりました。しかし、人生を変える出来事が起こりました。緑内障と診断されて故郷の福井に戻り手術を受けたのですが、視力をほぼ失うことになったのです。やがて、鍼灸師の資格を取り、地元の病院で勤め始めました。そのような中で、神様の導きで教会に行き、イエス様と出会いました。その後、妻と出合い、子どもが3人とえられ、今では5人の孫に囲まれて幸せを実感しています。

そんな私が聖書を読みながら示されたのは、「あれ？どこかで見た景色ではないか？」とぐるぐる回っている自分の姿。「イエス様が私の罪を背負って十字架で死なれ、よみがえってくださった…。それを信じたのに、なぜ同じところを回っているのか？」それが私の信仰の状態でした。しかし、祈りの中で気づきがありました。「古い自分が生きているからではないか。私自身も共に十字架で死ななければならない」ということに。

「それから、イエスは弟子たちに言われた。『だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者は、それを見いだすのです。』」（マタイ 16:24～25）

今年の3月に白内障の手術を受けました。真っ暗だった世界に光が燈ったように感じました。「あなたがたに光がある間に、光の子どもとなるために、光を信じなさい。」という御言葉の意味がよく分かるようになりました。

■ チャレンジキャンプ2026 <イースト>



3月27日（金）から一泊二日の日程で、川崎青少年の家にて、「T P K F イーストチャレンジキャンプ2026」が開催されました。

栄シャローム福音教会の新實千枝先生にⅡコリント人への手紙12：9から『主が働かれるスペース』というタイトルで語っていただきました。私たちは「弱さ」と聞くと、人の目を気にしている自分をイメージすることがあります。そしてそれが悪いもののような印象さえ持つのです。でも「誰の評価を大切にしたいの？」「ギュッと握っている手を開いてみよう」「あなたから主の働かれる場所を明け渡そうよ」と招かれているような、あたたかいメッセージでした。全部を愛してくださるイエス様は弱いままの私を愛してくださる方なんだと語られました。ユースが集会の賛美をリードしたり、証しをしたりする姿、そして初めての参加者をウェルカムする姿に、彼らの成長を感じます。彼らの背中を見て、更に下の子が育っていく…教会を越え全員の喜びとなっています。

(町田純福音教会 石井すみれ)

■ デンマークチームの春の奉仕 <FCMF>



3月にデンマークのマリアガーホイスコーレ短期神学校から、生徒10名と教師1名が宣教旅行のため日本を訪れ、観光や教会での奉仕を行いました。

20日は、ホープハウスで行われている金曜夜の英語カフェに参加し、多くの学生や社会人と英語で交流しました。また、自分たちが学んでいる学校について紹介しました。日曜礼拝は、丸岡福音キリスト教会や小松ベタニヤ福音教会がチームを温かく迎えてくださり、貴重なミニストリーの機会が

与えられました。さらに、24日と25日には、ホープハウス主催の小中学生向け国際交流キャンプにも参加しました。18人の子どもたちとともに、歌やイエス様のお話を分かち合う機会が与えられたほか、ゲームや工作、縄跳びなどを通して皆で楽しいひとときを過ごしました。

このすばらしい時を与えてくださった主に感謝します。

(ホープハウス 中林ボーディル)

■ 長老・執事訓練コース <キリスト福音>



2月23日（月）にフィンランド学校で長老・執事訓練コースが行われました。フィンランドの教会では、今、日本に対して新しい宣教気運が高まっており、派遣希望者

も多いと聞きます。その宣教計画の一部が説明されました。

フィンランドの教会は、音楽、スポーツ、文書伝道、ネット伝道、建築…日本の教会のニーズに応じて多岐にわたり、それなりの働き人を送るとおっしゃっています。

この新しいタイプの宣教師を迎え、共に手を携えて、日本宣教のために、一人一人が立ち上がらなければなりません。あなたの教会で何が欠けているか、何が必要なか、祈って答えを求めてください。そして、あなた自身が彼らと手を取り合って働いてください。講師のモノネン先生は、そのために、どんなことでも必要があれば話してくださいと言われました。

エリナ・ラウティオさんは、高齢者への伝道に対して使命感を持っておられます。私も講義を聴きながらうれしくなりました。これまで高齢者伝道について、ほとんど話を聞いたことがなかったので、高齢者は見捨てられ、福音伝道は不要なのかなと思っておりました。

C D 3枚セット 1000円 申込先：朝子孝一 Koasako1022@gmail.com
(綾部キリスト福音教会 朝子孝一)

■ KBI

日頃よりお祈りとご支援をありがとうございます。皆様のお祈りのおかげで、2026年度も新生入生25名（本科9名、3週間コース16名）、編入生1名が与えられ新たにスタートすることができました。

KBIでの働きを通して特に感謝していることは、神様の大きなご計画の中で、それぞれ異なる背景から召し出された学生たちと出会うことです。主は一人ひとりを特別に選び、今日まで導いてくださっています。

また、学生たちが2年、3年と歩みを進める中で成長していく姿を見られることも、大きな恵みです。入学当初は「大丈夫かな、少し頼りないなあ」と感じていた彼らが、主のお取り扱いを受けて成長し、尊敬する主の僕へと変えられていくことに深い感動を覚えます。そこには主の並々ならぬ忍耐と愛があります。引き続き、彼らのためにお祈りを願います。
(関西聖書学院 高橋めぐみ)

教会紹介 守山キリスト福音教会 滋賀県守山市守山1丁目13-2

あなたの教会のモットーは何ですか？

「すべての世代がキリストに根差し、世に影響を与える教会となる」「真心をもって主を愛するキリストの花嫁なる教会」主キリストの喜びあふれ、信仰に一致し、主の臨在と栄光が現されることを期待する教会

伝道は何に力を入れていますか？

水曜のほっとカフェ、2人～15人の聖書の学び会、中高生、子ども、ファミリーなど互いの関係を大切にしようと努力しています。よく食べ、よく笑い、御言葉の交わりにより、居場所づくりを通して信仰の輪が広がります。

教会形成では何に力を入れていますか？

献堂38年 / リフォームから10年を経て、現会堂を最大限活用しつつ、今後の働きの拡大を期待しています！青森、長崎、鹿児島の子教会と一緒に成長！海外の教会との協力も大事に。次世代も上の世代も大切に！主を愛し、互いの存在を喜ぶ雰囲気づくり！問題に向き合う信仰実践！シンプルな信仰。（上田勇矢）



教会情報・働き人情報

■キリスト福音

○FFFM&KFK 総会

2026年5月12日(火) 会場：日本フィンランド学校

○エリナ・ラウティオ師

Fida 短期宣教師として1月から来日。KFK 長老執事訓練コース(2/23)ではソーシャルサービスの働き(高齢者への働き)について講演。

○アンニコ・ハブカイン姉

タンペレ教会からインターンとして来日(4/16～5/16)。

○木幡キリスト福音教会

2026年3月29日(日) 吉田啓生師牧師就任、吉田和佳子師伝道師就任

■イースト

○大佐和キリスト教会

教会ホームページ(ブログ) URL の変更 <https://ameblo.jp/oosawa-church/entry-12921251107.html>

■FCMF

○丸岡福音キリスト教会

電話番号の変更 090-1310-3923(牧師)、0761-22-7440(牧師宅)

所在地の番地の変更 福井県坂井市丸岡町西里丸岡10-9

書籍紹介 サークル・メーカー

最後まで祈り抜く人が見る奇跡



マーク・バタースン著
いのちのことば社発行
2023年10月1日再刷
定価 本体2,000円+税

かつてイスラエルに水が必要だった時、神に信頼する祈りの人ホニという人物は自分の周りに円を描き、その円の中に、祈りの中にとどまり続け、驚くべき神様の祈りの答え、大豪雨を経験する。この話を聞いたマーク・バタースンは聖霊に促されて祈りに導かれて神の偉大さを経験することになっていく。

神を絶対的に信頼して祈る、祈りの輪に留まり続ける、祈り続ける時、驚くべき神様のみわざを見ることになる、と本書は祈り手を励ましてくれる証しに満ちている。

(中見透)

単立ペンテコステ教会フェローシップ諸教会

北広島自由キリスト教会 / 平川めぐみ教会 / 房総中央キリスト教会 / 大佐和キリスト教会 / 町田純福音教会 / 鶴見純福音教会
横浜フィラデルフィア教会 / 磯子フィラデルフィア教会 / 金沢フィラデルフィア教会 / 横須賀クリスチャンセンター
保土ヶ谷純福音教会神の愛チャペル / 戸塚カルバリ純福音教会 / 栄シャローム福音教会 / 伊勢原聖書キリスト教会 / 秦野クリスチャンセンター
開成クリスチャンセンター / 北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音教会 / 南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会
甲府カルバリ純福音教会 / ハーベスト・チャーチ山梨 / 裾野純福音キリスト教会 / 御殿場純福音キリスト教会 / 富士純福音キリスト教会グレイスチャーチ
いのちのパンの家 湘南 / 小松ベタニヤ福音教会 / ホープハウス / 福井自由キリスト教会 / プンキョウゴスペルセンター
松岡福音教会 / 丸岡福音キリスト教会 / 勝山自由キリスト教会 / The Lighthouse 749 (三国) / 武生自由キリスト教会
グローリーチャーチ敦賀自由キリスト教会 / 小浜キリスト福音教会 / 小浜キリスト福音教会三方伝道所 / 高富グレイスチャペル
岐阜純福音教会 / 岐阜純福音白鳥教会 / 岐阜ライプツィヒチャーチ / 美濃グレイスチャーチ / 本地ヶ原自由キリスト教会
瀬戸サレム教会 / グレイスインクライスト教会(大阪キリスト福音教会名古屋伝道所) / 滋賀キリスト福音教会 / 守山キリスト福音教会
大津韓国福音教会 / 大津キリスト福音教会 / 田上キリスト教会(大津キリスト福音教会伝道所) / 甲賀キリスト福音教会 / 水口キリスト福音教会
甲西キリスト福音教会 / 雲井キリスト福音教会 / 米原キリスト福音教会 / 綾部キリスト福音教会 / 亀岡ベタニヤ教会 / 京都キリスト福音教会
山科キリスト福音教会 / 深草キリスト福音教会 / 宇治キリストペンテコステ教会 / 木幡キリスト福音教会 / 京都ネットチャーチ
大阪キリスト福音教会 / 須磨自由キリスト教会 / 神戸フィラデルフィア教会 / LifeShare Christian Center / 南さつまキリスト福音教会
私たちの願いはすべてのTPKFの信徒が1部ずつ持つことです。
ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。pentecost@tpkf.org

TPKFの公式ホームページ <https://tpkf.org/>

